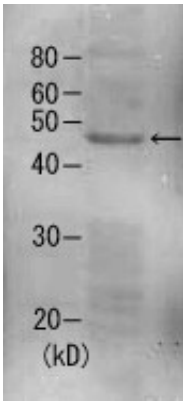


抗 Rpn7 (*S.cerevisiae*) 抗体, ウサギポリクローナル抗体

商品コード	62-205
容量	100 µl
保存	-20 °C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	100 mM NaCl, 10 mM Tris-HCl pH 7.4, 0.05 % sodium azide
純度	リコンビナント Rpn7p でアフィニティ精製した
抗原	大腸菌に発現させたリコンビナント酵母 Rpn7p (文献 4)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	<i>S. cerevisiae</i> Rpn7p. 他の種は試されてない。
アプリケーション	1) ウェスタンブロッティング (~1000 倍希釈) 2) 免疫沈降 他の用途は試されてない。
背景	プロテアソームはユビキチンで修飾されたタンパク質を分解する酵素である。ユビキチン-プロテアソームによる分解システムは、傷害を受けたりミスフォールドしたタンパク質を除去するのみならず、細胞周期制御、免疫応答、シグナル伝達といった細胞内の様々な働きに関わっている (文献 1)。 Rpn7 は 26 S プロテアソーム lid (蓋部) の制御サブユニットのひとつである (文献 1、2)。 RPN7 遺伝子は正しい lid 構造を形成して 26S 複合体を構築するのに重要であることが知られている (文献 3、4)。
Data Link	SGD RPN7/SGD
画像	 図 1 <i>S. cerevisiae</i> 粗抽出液においてこの抗体を用いてウェスタンブロッティングを行い、Rpn7 (49kDa)を検出した。
文献	この抗体は文献 3、4 に用いられた。 1. Herskho A and Ciechanover A "THE UBIQUITIN SYSTEM." <i>Annu Rev Biochem</i> 67: 425-479 (1998) PMID: 9759494 2. Finley D <i>et al</i> "Unified nomenclature for subunits of the <i>Saccharomyces cerevisiae</i> proteasome regulatory particle." <i>Trends Biochem Sci</i> 23:244-245 (1998) PMID 9697412 3. Isono E <i>et al</i> "Rpn7 Is required for the structural integrity of the 26 S proteasome of <i>Saccharomyces cerevisiae</i>." <i>J Biol Chem</i> 279:27168-76 (2004) PMID: 15102831 4. Isono E <i>et al</i> "The assembly pathway of the 19S regulatory particle of the yeast 26S proteasome." <i>Mol Biol Cell</i> 18:569-76 (2007) PMID: 17135287
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

関連製品: 62-205 抗 Rpn7 (S.cerevisiae) 抗体, ウサギポリクローナル抗体

#62-201 抗 Rpn3(S.cerevisiae)抗体、ウサギ抗血清

#62-203 抗 Rpn5(S.cerevisiae)抗体、ウサギポリクローナル

#62-207 抗 Rpn9(S.cerevisiae)抗体、ウサギポリクローナル

#62-209 抗 Rpn12(S.cerevisiae)抗体、ウサギポリクローナル

#62-211 抗 Nob1(S.cerevisiae)抗体、ウサギポリクローナル

#62-213 抗 Nas6/p28(S.cerevisiae)抗体、ウサギポリクローナル

#62-215 抗 Tem1(S.cerevisiae)抗体、ウサギポリクローナル